

わたしの「まんなか」

人との つながり

藤澤矢壽江さん
(中爪グリーンヒル)



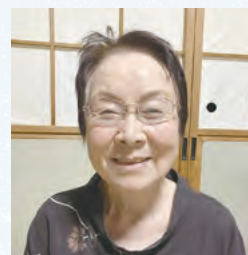
小川町に引越して来て約40年、2人の子どもたちは今や中年です。

今、私は自由な時間を持つことができ、いろいろなことに興味を持つ性格のため、週1回、日本語ボランティアでネパールの女の子(小学5年生)を担当していて、彼女の明るさに癒やされています。また、別の日には「放課後子供教室」で2年生を担当し宿題を見たり、校庭で遊んだりして若いパワーをもらっています。

このように動けることに感謝です。健康で動ける今、わたしのまんなかは「人とのつながり」です。

人を 大切に

梅澤直子さん
(仲町)



嫁いで66年。いろいろなことがあった。若さと前向きさだけで、家族や人のためにがむしやりに挑戦し、苦にならずに動いてきた。気がつけば近所の方に恵まれ、毎日自分らしく生活を送る「今」へとつながった。「人を大切にする」それが「わたしのまんなか」に、どしんと座っている。

小川町は住みやすい町だと心から思っている。若い人が自分の手で「自信」をつかみ、人とつながっていく町にさらになっていってほしいなと思っています。

編集委員の 任期を 終えて

高橋功人 発行責任者
16人で取り組んだ「議会改革・活性化」の様子が、紙面を通して少しでも皆様感じていただけたら幸いです。



山口勝士 委員長
委員長の大役が終わりホッと。議会の前向きさ・委員全員の向上心を感じてもらえたら本当にうれしいです。



鈴木秀尚 副委員長
記事づくりには取材がつきもの。取材時にお話を伺う中で、生きがいや町の課題を知ることができました。



高瀬 勉 委員
汗と涙と寝不足の結晶…7人のオジサンが2年間で紡いだ6万4000字。思えば私の「まんなか」は「議会だより」だったのかもしれない。



関根慶則 委員
編集の難しさを痛感した2年間でした。大変お世話になりました。読者の皆様にも御礼申し上げます。



岡部久志 委員
人生は学びの連続、しんどい経験こそ「自分を磨くチャンス」と捉え携わった2年間。委員皆さんの笑顔に感謝。



田端良成 委員
編集委員を通して、小川町の良さを再発見し、多くの人と出会えたことが、大きな学びとなりました。感謝!



・今号の表紙・

竹沢小1年生「なかよし6人組」



みんなが集まれば、自然とはじける笑顔。これからも「ズッ友」だよ!

次の定例会は **9月2日(火)～** 午前10時 開会予定

※日程は変更になる場合があります。詳しくは小川町ホームページへ



発行責任者：小川町議会議長 高橋功人

編集：議会広報発行特別委員会

委員長 山口勝士 副委員長 鈴木秀尚

委員 高瀬 勉・関根慶則

岡部久志・田端良成



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています